

# はこジ郎の ぶらぶら ジオ日記



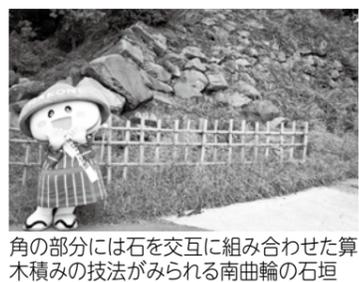
新年度も始まり、新たな気持ちでこの4月を迎えた方、花粉症でまだまだ辛い日々を送る方なども多いですが、春の陽気の気持ち良いこの時期に、はこジ郎は豊臣秀吉と小田原北条氏の小田原合戦の拠点となった「石垣山一夜城」を訪れました。  
照会先 企画課 ☎85-9560

先月号では小田原城を紹介したけど、今回はその難攻不落の小田原城を落とすために豊臣秀吉が拠点として築城した石垣山一夜城に行ってきたから紹介するね。当時の東日本の城は石垣を用いず、関東ローマ層を掘りぬいた空堀と土塁の城郭だったという話は覚えているかな？ そのような中で秀吉が築城した石垣山一夜城が“東国初の総石垣の城郭”だったんだよ！

天正18年(1590)4月6日に箱根湯本の早雲寺に本陣を構えた秀吉は、小田原城を見下ろす笠懸山に築城を指示したんだ。早雲寺は北条五代の菩提寺という北条家にとっては大切な場所だし、小田原城からわずか2km程の場所に城をつくってしまうなど、秀吉は相手方の士気を下げる心理戦が上手だったんだね！ 秀吉の手紙の内容から、5月14日頃には石垣が完成し、6月26日には本陣を早雲寺から移したらしいんだ。城が完成した際に周囲の木々を切り、一晩で完成させたように見せたから一夜城と呼ばれるようになったんだって。3か月弱でお城を完成させてしまうなんて秀吉の力はすごいなあー！

石垣山は箱根外輪山にあるから、その溶岩を利用して石垣をつくっているんだよ。溶岩の転石などを加工せずにそのままの状態で積み重ねる野面積みという工法で、近江(今の滋賀県)あたりから穴太衆という石工を連れてきて築いたんだって。見どころとしては、水が湧き出る谷地形を利用して、四方を石垣で囲んで底の部分に井戸をつくった「井戸曲輪」があるよ。秀吉が合戦中に小田原まで呼び寄せた淀君がここの水を化粧に使ったといわれており、「淀君の化粧井戸」とも呼ばれているんだって。当時の石垣が度重なる大地震にも耐えてその姿を残しており、当時の技術を知る貴重な場所なんだよ。秀吉は諸大名には女房衆を呼び寄せるように指示し、さらに千利休などの茶人を同行させ、茶会も開いたんだって。天下人がやることは大胆だねー！

関東各地の支城が次々と開城・落城するなか、天下の陰の箱根をも越え、当時の上方の技術を駆使した城が目の前に築かれるなど秀吉の巧みな戦術により小田原北条方は戦意を喪失、氏政・氏直父子はこれ以上の戦いは無益と考え、開城・降伏を決断したんだ。一夜城にこんな歴史的意義があったなんてオイラ知らなかったな。さ〜て、次はどこに行こうかな〜？



角の部分には石を交互に組み合わせた算木積みの技法がみられる南曲輪の石垣

**指定管理者** 八丁駐車場  
**指定管理者** 元箱根観光協会  
**指定期間** 平成29年4月1日〜

## 指定管理者が 決まりました

箱根ジオミュージアムは、4月1日からリニューアルします。大涌谷周辺の模型や箱根火山の形成史のパネルなど、箱根のことがわかる展示を充実します。また、多くの観光客に入館していただけるように観覧料を100円にします。町民は無料です。お気軽にお越しください。  
照会先 箱根ジオミュージアム ☎83-8140

## 箱根ジオミュージアム リニューアルのお知らせ

## 緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断費を補助します。

大地震の発生時に、緊急車両の通行、救急活動人員や災害支援物資などの輸送を行う大動脈となる緊急輸送道路の機能を確保するために、沿道建築物の倒壊による道路閉塞を防ぐことが大変重要です。  
この緊急輸送道路となる沿道建築物の耐震化を図るため、最初のステップとなる耐震診断に要する経費の一部を補助します。町民はもとより、観光される方の生命を守り、迅速な災害復旧・災害復興のため、建築物を所有される皆さまのご理解とご協力をお願いします。  
緊急輸送道路 国道1号、国道138号、県道75号  
補助金 耐震診断に要する経費の3分の2(上限240万円)  
※詳細は、ホームページを確認していただくか、問い合わせください。

平成30年3月31日(1年間)  
照会先 財務課 ☎85-9563

照会先 都市整備課 ☎85-9566

## プレママ・パパ (出産育児) 教室

**日時** 4月26日(水)  
13時30分〜16時  
**場所** さくら館  
**内容** お産や母乳育児についての話、赤ちゃんの沐浴実習  
**対象** これから母親、父親になる方  
**持ち物** 母子健康手帳、筆記用具、エプロン  
**申込方法** 4月19日(水)までに電話で申し込んでください。  
**申込・照会先** 子育て支援課 ☎85-9595

## ヘルスメイト養成講座 受講生募集

食生活について学びませんか。食育推進活動に興味がある方を募集します。  
講座修了者の多くは、町食生活改善推進員として活躍しています。  
**受講期間** 5月〜11月(全8回)  
**場所** 小田原保健福祉事務所(小田原市荻窪350-1)ほか  
**内容** 食生活改善や食育、運動などに関する講義および実習  
**対象** 町内在住で継続的に受講できる方  
**定員** 3人(申込順)

**受講料** 2,000円(教材費)  
**修了証書** 7回以上出席した方に交付します。  
**申込期間** 4月14日(金)までに直接または電話で申し込んでください。  
**申込・照会先** さくら館 ☎85-10800

## 公共下水道への接続 のお願い

公共下水道の使用可能区域(宮城野・強羅・二ノ平・小涌谷・仙石原・箱根・元箱根の一部)に住む方で、公共下水道に未接続の場合は、公共下水道への接続をお願いします。  
下水道への切替工事は、必ず町の指定工事店へ依頼してください。

また、工事が始まる前に申請書を出し、町の確認を得てから工事を開始してください。  
なお、公共下水道への接続工事に要した費用については、要件を満たす場合には補助金や貸付金の制度があります。  
公共下水道の使用可能区域や町の指定工事店、補助金や貸付金の制度の利用方法など、詳細については問い合わせください。  
照会先 上下水道温泉課 ☎85-9567

## 箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』の取り組みを紹介します。各園・小・中学校では、4つの柱「箱育」・「知育」・「徳育」・「体育」に沿って、教育活動を進めるとともに、各園・小・中学校の実態に応じた特色ある園・学校づくりを推進しています。

## 平成29年度は、次の二つのプロジェクトに、特に力を入れていきます。

### ★観光学習推進プロジェクト

ICT(情報通信技術)を活用した教育の導入を図り、教育的効果が図られるよう研究していきます。小・中学校の教員にタブレットを配備するとともに、各教室に大型ディスプレイを整備していきます。更に、町の基幹である観光とジオパークの情報をデジタル化したコンテンツを作成して、児童・生徒の主体的な学習を行っていきます。今後、児童・生徒にもタブレットを配備していく予定です。

### ★箱根英語教育推進プロジェクト

平成32年度から小学校に英語の授業が入ります。3・4年生では外国語活動において、「英語に慣れ親しむ」学習の必修化、5・6年生では、英語が教科となり、評価されていきます。町では、国際観光地として、英語の重要性を鑑み、小・中学校の英語教育に力を入れていきます。  
中学校の英語科教員が、小学校の英語学習内容の研究や授業を行っていきます。  
中学校では、以前からプロジェクト学習で、外国人へのインタビューや観光ガイドを実施してきましたが、更に今年度は、実際に外国人に接する前に、外国人講師による英語のコミュニケーションの能力向上を図る「ワールドカフェ※」を実施していきます。



外国人講師による生きた英語授業(箱根中学校)

《4園・3小・1中の教育目標の統一》  
**箱根教育の合言葉**  
『箱根を愛し かしく やさしく たくましく』